

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 かすかな潮のにおいは、そこにもあった「虹の足」	2	●見えている「虹の足」を通して、見えていない「虹の足」について考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
質問する力をつける	1	●伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	積極的に集めた材料を整理し、学習の見直しをもって話し合おうとしている。
タオル	5	●文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ●少年の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
活用のない自立語	2	●活用のない自立語のはたらきを理解する。	単語の活用について理解を深めている。		粘り強く活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
新聞の投書を書く	5	●多様な方法で材料を集める。 ●社会生活の中から題材を選んで書く	言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見直しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
ましがえやすい漢字	1	●似た形やましがえやすい漢字についての理解を深める。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		粘り強く学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

<p>二 富士山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだろうか 日本の花火の楽しみ</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
<p>水の山 富士山</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ●図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ●説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ●富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
<p>説得力のある提案をする</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ●話の構成を効果的に組み立てて話す。 ●根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</p>	<p>積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって主張しようとしている。</p>
<p>敬語</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ●敬語のはたらきや特徴について知る。 	<p>言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。</p>		<p>粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>
<p>構成を明確にして手紙を書く</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ●相手に対して適切に言葉を選ぶ。 ●書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。 	<p>話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。</p>	<p>「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</p>	<p>積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。</p>
<p>三 神様はその人へ乗り越えられない試練は与えない夢を跳ぶ</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。 	<p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</p>	<p>読むこと」において、文章全体と部分との関係などに注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。</p>
<p>話し言葉と書き言葉</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ●話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。 	<p>言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。</p>		<p>粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>

観点を明確にして伝える	3	<ul style="list-style-type: none"> ●集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ●図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。 	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</p>	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって議論しようとしている。
SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2	<ul style="list-style-type: none"> ●小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。 	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	<p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。</p>	すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。
漢字の成り立ち	1	●漢字の成り立ちについての理解を深める。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		粘り強く学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
四 紙管の工場は、日本中、世界中のどこにでもある持続可能な未来を創るために—不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	3	●持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	<p>「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</p> <p>「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。
紙の建築	5	<ul style="list-style-type: none"> ●事例の役割や効果を確認しながら読む。 ●事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ●筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	<p>「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。</p> <p>「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。
根拠をもとに意見文を書く	5	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な考え方が問題について根拠をもとに推論して考える。 ●考えの理由づけを示して意見文を書く 	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
活用のある自立語	2	●用言の活用と種類・用法を理解する。	単語の活用について理解を深めている。		粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

五 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり 敦盛の最期	4	●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。	歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。
随筆の味わい	4	●古人のもの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことや考えたことを説明しようとしている。
二千五百年前からのメッセージ	3	●表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ●文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。
坊っちゃん	2	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の設定の仕方考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
六 もはや逃げ場所はないのだ 短歌の味わい	3	●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。
夏の葬列	6	●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ●時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の設定の仕方考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
映像作品の表現を考える	1	●絵コンテを構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ●漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解使っている。	「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。	積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。

漢字の多義性	1	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の多義性についての理解を深める。 	<p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>		<p>粘り強く漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>
七 鯨や象のもつ「知性」は、いわば「受容的な知性」とも呼べるものだ ガイアの知性	5	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者が用いる語句の意味を捉える。 ●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ●自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。 	<p>抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>
記事を書く	5	<ul style="list-style-type: none"> ●情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</p>	<p>積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生か仕方を考えようとしている。</p>
相違点を明確にして聞く	3	<ul style="list-style-type: none"> ●論理の展開などに注意しながら聞く。 ●話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p>	<p>積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって対話しようとしている。</p>
八 「学ぶ力」は他人と比べるものではなく、個人的なものの学ぶ力	4	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ●本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。 ●本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ、考えを広げたり深めたりする。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。</p>
よりよい結論を導く討論をする	4	<ul style="list-style-type: none"> ●結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</p>	<p>積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p>
付属語のいろいろ	2	<ul style="list-style-type: none"> ●付属語にはどのようなものがあるのかを知る。 	<p>助詞や助動詞などのはたらきについて理解を深めている。</p>		<p>粘り強く付属語のはたらきを理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>

九 訳のわからぬ大きな力 豚	1	●詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
走れメロス	7	●抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ●人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。
類義語・対義語・多義語・同音語	1	●日常生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
「連作ショートショート」を書く	5	●表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ●物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	積極的に表現の効果を考え、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
同音の漢字	1	●同音の漢字についての理解を深める。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。